

花のあるまちづくり



環境整備や緑化運動を進めるため「花のあるまちづくり事業」の一環として、別海市街地10町内会の協力の下、主要道路にプランターを設置しています。

本年度も、町からベコニアを提供し、10月末日まで各町内会に管理をお願いしています。

チャレンジスクール・成人講座合同学習会

6/12・18

東公民館のチャレンジスクールと、成人講座の学習会として「西別岳登山」と「クテクンの滝沢登り体験」を実施しました。

「西別岳登山」では、前日からの雨もあり少し肌寒く霧のかかる中、協力して山頂を目指しました。下山中、雨が降りだしてしまいましたが、雨にも負けず元気いっぱい下山しました。

「クテクンの滝沢登り体験」では、天候にも恵まれ、水の流れる音や、鳥の鳴き声などを聞きながら大自然を満喫し、最高の沢登り日和となりました。滝が見えてくると参加者は滝に魅了されていました。



人権教室開催

6/20

根室人権擁護委員協議会による「人権教室」が、中春別小学校で開催されました。ビデオ上映や講話が行われ、児童たちは人権について分かりやすく学ぶことができました。

また、子どもの人権相談窓口やSOSミニレターを紹介し、いじめなどの悩み事を1人で抱え込まないよう呼び掛けがされました。



SHOPBOT教室

6/1・5・22

生涯学習センターで初めての成人講座として「SHOPBOT教室」を開催しました。

SHOPBOT（ショップボット）とは、木材などの加工を行うことができる、コンピューター制御の切断機です。

教室では機器の基礎知識の説明、椅子の組み立て、表札デザイン体験を行いました。今回は椅子を作製しましたが、その他の木工品に挑戦する講座も企画中です。

成人講座以外にもSHOPBOTの使用に関するご相談などがありましたら、気軽にご連絡ください。



ねむろ自然の番人宣言活動

6/3

「ねむろ自然の番人宣言」活動の一環として、高玉建設工業株式会社（高玉哲朗 代表取締役社長）による清掃活動が行われました。

36名の従業員の皆さんが本別海西別川河口付近のごみ拾いを行い、環境の美化へつながりました。

令和4年度 べつかい協働の まちづくり補助金(公募型)

後期分事業募集中

町民によるまちづくり活動を支援する「べつかい協働のまちづくり補助金(公募型)」の対象となる事業を次のとおり募集しています。

応募をお考えの方は、町内各公共施設に設置している募集要項をご確認の上、下記担当へ気軽にご相談ください。

また、町ホームページでは募集要項や申請様式がダウンロードできるほか、過去の採択事業などを掲載しています。

■募集期間 8月31日(水)まで

■対象事業 町民の自主的なまちづくりにおける取り組みであり、地域活性化を図るために多くの町民に共感を与え、公益性や将来性が見込まれる事業が対象です。

後期事業の対象となる実施期間は令和4年10月から令和5年3月までです。

■対象団体 次の要件を満たす団体が対象となります。

- ・団体構成員中、町民が3名以上含まれていること
- ・活動拠点が町内にあること
- ・組織における規約などがあり、会計処理については金融機関口座を有し、明確かつ適切に行われていること

■募集要項設置場所

役場総合政策課窓口、各支所、各連絡事務所、生涯学習センターみなくる、各公民館、図書館、町民体育館

■過去の採択事業

尾岱沼贅沢プロジェクト推進協議会活動準備事業(尾岱沼贅沢プロジェクト推進協議会)

尾岱沼地域で採れる食材を使った新メニュー開発や、地域でのイベント開催のために必要な備品の整備をしました。

【事業費】196,350円 【補助金額】150,000円

【補助区分】スタート応援型補助金(8割補助・上限15万円)

町ホームページ検索キーワード

べつかい協働のまちづくり補助金(公募型) 

問合せ/まちづくり推進担当(内線2216)

8月は「北方領土返還要求運動強調月間」です



北海道では、北方領土返還要求に対する国民世論の高揚を図るため、毎年8月を「北方領土返還要求運動強調月間」としています。

役場庁舎、各支所での署名活動や「北方領土の日」ポスターコンテスト作品の募集、北方領土に関する標語・キャッチコピーの募集などさまざまな活動を行っていますので、ぜひ積極的にご参加ください。

問合せ/企画振興担当(内線2213)



「防災の日」は、過去に甚大な被害をもたらした関東大震災に由来して制定され、毎年8月30日から9月5日までを「防災週間」としています。

いざというときに備え、日頃から災害に対する意識を持つことが、自分や大切な家族の命を守ることに繋がります。

ハザードマップで身の回りにどのような危険があるかを確認したり、水や食べ物の備蓄や家具の転倒防止対策など、自分ができることから実践していきましょう。

問合せ/防災・交通担当(内線2116・2117)